

事務局報告

第43回(2009年度第1回)幹事会議事要録

日時:2008年11月15日(土)9:00~10:30

場所:パルセいいざか 控室

出席者:南木会長,守田事務局長,那須庶務幹事,工藤会計幹事,佐々木(由)広報・渉外幹事,能城編集委員長,大井編集副委員長,山本行事委員長

報告事項

1. 2008年度決算報告:2008年度の決算が報告された。
2. 植生史研究の編集状況:第16巻第2号を10月末に刊行したことが報告された。第17巻以降は査読中論文3本,準備中論文2本があるが,継続して会員の積極的な投稿を促す必要がある。特集号として,「圧痕研究への招待」,「縄文時代のクリ利用」の準備を進めている。
3. メールサーバー変更:ニュースレターのメーリングリスト配信および学会メールアドレスへの迷惑メール対策として,メールサーバーの変更を検討してきたが,現行のメールサーバーを継続利用することが報告された。現行メールサーバーの機能が改善されたため。
4. 第24回熊本大会:開催日程が2009年11月7日(土)・8日(日)に決定した。実行委員長は甲元眞之氏,実行委員は小畑弘己・宮縁育夫・仙波靖子・佐々木由香・佐々木尚子の各氏に決定した。
5. 奨励賞審査結果:第6回奨励賞の審査結果について,奨励賞選考委員長より,該当無しとなったことが報告された。
6. 企業向け広告の募集:会誌「植生史研究」に掲載する企業向け広告の募集を行ったことが報告された。

審議事項

1. 2009年度予算案:2009年度の予算案を審議した。
2. 第25回大会:名古屋大学,鳥根県松江市・出雲市,信州大学の3案が出され,継続して検討することにした。
3. 第29回談話会:第24回大会にあわせた阿蘇での談話会の案などが出され,継続して検討することにした。
4. 奨励賞の規定改正および論文賞の提案:奨励賞を2年に一度とし,新に4年に一度の論文賞を設ける案が出され,評議員会で審議することにした。
5. 学会収支の改善案:学会運営事務の負担軽減にあたって事務委託費用を確保するため,学会の貯金が60万円程度になるような方策を検討し,評議員会,総会で改善案を提案することにした。
6. 評議員会・総会資料の確認:評議員会・総会資料を確認し,対応を検討した。

2009年度評議員会議事要録

日時:2008年11月15日(土)11:00~12:30

場所:パルセいいざか 控室

出席者:鈴木三男,辻 誠一郎,高原 光,百原 新各評議員,南木会長,守田事務局長,那須庶務幹事,工藤会計幹事,佐々木(由)広報・渉外幹事,能城編集委員長,山本行事委員長

1. 2008年度の事業報告および会計報告・会計監査報告(総会資料)を承認した。主な案件は以下の通り。
 - 1) 会費の長期滞納により3名の会員について,2008年12月15日まで納入がない場合は除名することとした。
 - 2) 第13回国際花粉学会議(IPC-XIII)および第9回国際古植物学会議(IOPC-IX)の2012年日本招致が決定したことが報告された。これを受けて,学会でも共催のための準備委員会を設置することにした。
2. 2009年度事業計画の幹事会案を審議した。主な案件は以下の通りである。
 - 1) 奨励賞審査対象論文が減少していることを受け,奨励賞を2年に1度とする案,および,新に4年に1度の論文賞を設ける案を審議し,今後の幹事会,評議員会を通して議論を重ね,表彰規定の改定案を改めて審議していくこととした。
 - 2) 会誌「植生史研究」掲載論文のPDF公開について審議し,過去2年よりも古いバックナンバーについては,学会ホームページで公開することが承認された。
 - 3) 学会収支の改善案について審議し,支出削減のための業務効率化とあわせ,学会費値上げを検討していることを総会で報告することとした。

2009年度総会議事要録

日時:2008年11月16日(日)11:15~12:15

場所:パルセいいざか 第一会議室

議長:半田久美子

報告事項

1. 2008年度事業報告
 - 1-1. 庶務
 - 1) 会員動向(2008年9月30日現在):名誉会員3名,賛助会員1社,一般会員373名,学生会員32名,団体会員8団体(前年度比:名誉会員+2名,賛助会員±0社,一般会員+21名,学生会員-16名,団体会員+1団体)。除名会員12名。
 - 2) 2008年度評議員会を2007年11月17日,総会を

11月18日、大阪市立自然史博物館において開催した。

3) 学術著作権協会と「著作物複写利用に関わる著作権権利委託契約」を締結した。

4) 会誌「植生史研究」バックナンバーの割引販売とセット販売を実施した。

1-2. 広報・渉外

1) ニュースレター12号・13号・14号・15号を編集・刊行した。

2) ホームページをリニューアルし、管理と更新を行なった。

3) 「植生史研究転載許可願い」の様式を作成し、ホームページからダウンロードできるようにした。

4) 企業広告を会誌にも掲載することにした。

1-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」第15巻第2号、第16巻第1号を刊行した。

2) 会誌「植生史研究」の投稿規程を2008年4月19日付で一部改定した。

1-4. 行事

1) 第22回大会を2007年11月17・18日、大阪市立自然史博物館において開催した。

大会実行委員長：塚越 実。大会実行委員：南木睦彦、佐久間大輔、大井信夫。参加者：94人。

2) 第27回談話会を2008年8月2日・3日、岡山県備中町において開催した。

テーマ：漆にかぶれよう。

世話人：扇崎 由、守田益宗、能城修一。案内者：小野忠司氏。参加者：12人。

3) 第28回談話会を2008年8月29・30・31日、岡山理科大学において開催した。

テーマ：植生史解明のための室内実験法2—化石花粉の効率的な分離と観察・同定—

講師：守田益宗。参加者：5人。

4) 第23回大会を2008年11月15日・16日、パルセいいざかにおいて開催すべく準備した。

2. 会計

1) 2008年度決算報告（2008年10月～2009年9月）41頁参照。

2) 会計監査報告

2008年度の決算が報告され、会計監査の小椋純一より適正に処理されていたことが報告された。

3. 第6回奨励賞

日本植生史学会表彰規定（2002年11月17日制定、2004年11月28日改訂）に則って、奨励賞審査委員会（南

木睦彦委員長、鈴木三男・辻 誠一郎・高原 光・山田昌久・守田益宗・大井信夫各委員）を設置し、審査を行なった結果、第6回奨励賞は該当無しとなった。

4. 会員の除名

会費の長期滞納により3名の会員について、2008年12月15日まで納入がない場合は除名することとした。

審議事項

1. 2009年度事業計画

以下の事業計画について、賛成多数で承認された。

1-1. 庶務

1) 2009年度評議員会・総会を2008年11月15日(土)・16日(日)パルセいいざかにおいて開催する。

2) IPC/IOPCの2012年日本開催の決定を受け、共催のための準備委員会を設置する。

3) 会長、評議員選挙を実施する。

1-2. 広報・渉外

1) ニュースレターを編集・刊行する。

2) ニュースレターを電子化し、メーリングリストによる配信を開始する。

3) ホームページの管理と更新を行なう。

4) 会誌「植生史研究」に掲載する企業広告を募集し、対応する。

1-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」第16巻第2号、第17巻第1号・第2号、第18巻第1号を編集・刊行する。

1-4. 行事

1) 第23回大会を2008年11月15日(土)・16日(日)パルセいいざかにおいて開催する。大会実行委員長：木村勝彦。大会実行委員：大山幹成、吉田明弘、箱崎真隆、山本直人、佐々木尚子。

2) 第29回談話会を行う。

3) 第24回大会を2009年11月7日(土)・8日(日)に、熊本大学において開催すべく準備する。大会実行委員長：甲元眞之。大会実行委員：小畑弘己、宮縁育夫、仙波靖子、佐々木由香、佐々木尚子。

2. 2009年度予算案

41頁参照。

賛成多数で承認された。

3. 「植生史研究」掲載論文のPDF公開

会誌「植生史研究」掲載の過去2年よりも古いバックナンバーについて、論文PDFをホームページで公開する案が審議され、賛成多数で承認された。

2008年度決算報告(2007年10月1日～2008年9月30日)

取 入	2008年度予算案	2008年度決算	
会費	1,504,000	2,244,000	未納会費請求による
団体・賛助会員会費	57,000	36,000	16巻2号の発送に合わせて請求
会誌売上	100,000	327,985	団体購入, セット販売, 15巻1号など
特別号(2)売上	180,000	172,450	
寄付金(大会準備金返金)	0	160,823	
広告費	50,000	0	
利息	600	1,283	
前年度繰越金	853,144	853,144	
収入合計	2,744,744	3,795,685	
支 出			
会誌印刷費 15(2)	430,000	428,820	2007年11月刊行
会誌印刷費 16(1)	380,000	272,370	2008年4月刊行
会誌印刷費 16(2)	380,000	0	2008年11月刊行
会誌郵送費 15(2)	30,000	36,615	
会誌郵送費 16(1)	30,000	34,300	
会誌郵送費 16(2)	30,000	0	
会誌・バックナンバー郵送費	0	14,490	
ニュース紙等郵送費	140,000	98,580	NL12, 13, 14, 15
郵送費	0	21,260	滞納会費請求等
郵送補助(人件費)	120,000	76,000	
事務局移転費	40,000	38,525	
一般事務経費	80,000	35,020	
各賞状等	0	368	
幹事会出席旅費	500,000	613,820	新旧合同幹事会, 幹事会名古屋3回
封筒印刷費	80,000	84,420	事務局移転のため
大会準備金	100,000	100,000	
支出合計	2,340,000	1,854,588	
次年度繰越金(予備費)	404,744	1,941,097	

2009年度予算案(2008年10月1日～2009年9月30日)

取 入			
会費	1,542,000	一般会員4000円×370人, 学生会員2000円×31人として計算	
団体・賛助会員会費	63,000	団体会員6000円×8団体, 賛助会員15,000円×1社として計算	
会誌売上	100,000		
特別号(2)売上	180,000		
利息	1,000		
前年度繰越金	1,941,097		
収入合計	3,827,097		
支 出			
会誌印刷費 16(2)	348,600		
会誌印刷費 17(1)	380,000		
会誌印刷費 17(2)	380,000		
会誌印刷費 18(1)	380,000		
会誌郵送費 16(2)	37,810		
会誌郵送費 17(1)	38,000		
会誌郵送費 17(2)	38,000		
会誌郵送費 18(1)	38,000		
会誌・バックナンバー郵送費	15,000		
ニュース紙等郵送費	140,000		
郵送費	25,000		
郵送補助(人件費)	120,000		
一般事務経費	60,000		
幹事会出席旅費	400,000	幹事会名古屋3回, 会計監査1回の旅費として計算	
封筒印刷費	80,000		
大会準備金	100,000		
大会準備貸付金	100,000		
選挙関連郵送費	84,000		
支出合計	2,764,410		
次年度繰越金(予備費)	1,062,687		

4. 学会収支の改善案

学会運営事務の負担軽減にあたって事務委託費用を確保するため、学会収支の改善案を提案した。幹事会では支出額減少のための業務効率化の方策を様々に実施しているが、これに加えて、会費の値上げを次年度あたりの総会で審議したい旨、提案した。

会員動向（2008年10月～2009年2月）

新入会員

仙波靖子（一般）
熊本大学埋蔵文化財調査室

物故会員

内藤源太郎

退会会員

太田道人，加藤英寿，小石澤泰子，柴内佐知子，竹内貞子，
田中里枝，平野礼子，三村昌史，山田裕子，山下寿之

事務局連絡先の変更

会計の連絡先が2009年4月1日より変更になります。

入会・異動・退会の申込み：

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地

国立歴史民俗博物館 研究部考古研究系

工藤気付 日本植生史学会

TEL：043-486-0123（代表）

第6期日本植生史学会役員

（任期：2007年10月1日～2009年度大会）

会 長：南木睦彦

評議員：鈴木三男，高原 光，辻 誠一郎，百原 新，山
田昌久

幹 事：守田益宗（事務局長），那須浩郎（庶務），工藤雄
一郎（会計），佐々木由香（広報・渉外）

編集委員会：能城修一（委員長），大井信夫（副委員長）

行事委員会：山本直人（委員長），佐々木尚子（副委員長）